

以下の記事が 2004 年 6 月 19 日付の朝日新聞の夕刊に掲載されました

立体元素周期表が隠れた人気に 京大教授が考案

化学の試験では避けて通れない元素の周期表を立体にした商品が、人気を呼んで。平面だと不連続だった周期表がひと続きになり、元素が化合物になったときの性質も分かりやすい。考案した京都大大学院理学研究科の前野悦輝教授（低温物理学）は「周期表の地球儀」と呼んでいる。

商品名はエレメントタッチ。「元素（エレメント）に触れる（タッチ）」からとった。超伝導物質をつくるため様々な元素を扱う過程で、前野教授が 01 年 6 月に考案。02 年に意匠登録された。

112 種類ある元素を、水素から原子番号順に三重の円筒（高さ約 13 センチ）の表面にらせん状に並べた。イオンの性質が似ているカルシウムとカドミウムは、従来の表では離れていたが、立体周期表では同じ縦の列になるなど、化合物の性質が理解しやすい。

大阪の雑貨販売業者が商品化した。ペン立てとしても使える。03 年 2 月の発売以来、京大生協や東京に本店がある教育雑貨店、東京の日本科学未来館などで約 2000 個売れた。値段は扱う所で異なるが、1 個 1000 円前後。同生協によると、キャンパスを見学に来た修学旅行生らが買って行くほか、高校の化学の教材として注文もある。

前野教授の研究室のウェブサイトから型紙をダウンロードできる。

<http://www.ss.scphys.kyoto-u.ac.jp/elementouch/index.html>

「従来の周期表は世界地図で、エレメントタッチは地球儀と考えると分かりやすい。家に置いてもらって科学を身近に感じてもらえれば」と前野教授は話している。



ペン立てにもなる立体周期表
エレメントタッチ

2004年6月19日付 朝日新聞 Web 版より引用